

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備ロータリーキルン(※1)密封部の摺動板の摩耗について】 増設雑固体廃棄物焼却設備設置工事の耐火物乾燥運転(※2)後の設備点検において、施工メーカー社員がロータリーキルンの密封部の回転側摺動板が設計管理値を超えて摩耗していることを確認。 原因および対策を検討中。</p> <p>※1. ロータリーキルン:回転式の焼却炉。廃棄物を回転により攪拌、焼却する。 ※2. 耐火物乾燥運転:耐火物が施工されている焼却炉、二次燃焼器、排ガス冷凍器等をバーナにより乾燥焚きを行うこと。 (2020年11月17日～11月26日の10日間実施)</p>	G II	12月2日
2	<p>【既設多核種除去設備(B)共沈タンクの入口側配管溶接部からの水のにじみについて】 既設多核種除去設備(B)共沈タンクの入口側配管フランジ点検において、ろ過水による入口側配管の漏えい確認を行なった結果、配管同士の溶接部にごく小径な孔があり、水のにじみ(滴下なし)が発生していることを当社社員が確認。 漏えい箇所に自己融着テープを巻き、漏えい停止を確認。 今後、原因調査、および当該配管の取替えを予定。 既設多核種除去設備(B)は、設備点検中のため停止中。</p>	G III	12月3日